

JIS

ファインセラミックス用アルミナ微粉末の 化学分析方法

JIS R 1649 : 2002

(2007 確認)

平成 14 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	松 尾 陽太郎	東京工業大学大学院理工学研究科
(副委員長)	植 松 敬 三	長岡技術科学大学
(委 員)	井 田 全 彦	板硝子協会
	小 田 喜 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	黒 木 俊 之	東邦テナックス株式会社三島事業所
	阪 井 博 明	日本ガイシ株式会社中央研究所
	佐 々 正	石川島播磨重工業株式会社技術開発本部
	長 恵 祥	株式会社大林組総合企画室
	松 尾 晃	品川白煉瓦株式会社技術グループ
	松 田 邦 男	川崎製鉄株式会社技術総括部
	山 川 正 行	株式会社マグ製造部

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14. 3. 20

官 報 公 示：

原案作成協力者：社団法人 日本セラミックス協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：窯業技術専門委員会（委員長 松尾 陽太郎）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

白
紙

ファインセラミックス用アルミナ微粉末の 化学分析方法

Methods for chemical analysis of aluminium oxide powders for fine ceramics

序文 ファインセラミックス用アルミナ微粉末を原料として使う場合に、その化学成分を知ることが必要となる。化学分析方法を規定することで、その原料の化学成分に対する理解と使用の能率化が図られる。そのため、最近の化学分析手法を取り入れて、今回の規格を制定した。

1. 適用範囲 この規格は、ファインセラミックスの原料として用いるアルミナ微粉末の化学分析方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS H 6201 化学分析用白金るつば

JIS K 0050 化学分析方法通則

JIS K 0116 発光分光分析通則

JIS K 0121 原子吸光分析通則

JIS K 0127 イオンクロマトグラフ分析通則

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS R 6003 研磨材のサンプリング方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8402-6 測定方法及び測定結果の精確さ(真度及び精度)―第6部：精確さに関する値の実用的な使い方

3. 一般事項 分析方法に共通な一般事項は、JIS K 0050、JIS K 0116、JIS K 0121、JIS K 0127及びJIS K 0557の規定による。

4. 分析項目 ファインセラミックス用アルミナ微粉末の分析項目は、次による。

- a) 強熱減量 (LOI)
- b) 酸化けい素(IV) (SiO_2)
- c) 酸化鉄(III) (Fe_2O_3)
- d) 酸化チタン(IV) (TiO_2)
- e) 酸化カルシウム (CaO)
- f) 酸化マグネシウム (MgO)
- g) 酸化ナトリウム (Na_2O)
- h) 酸化カリウム (K_2O)